

2020年4月～2021年3月までの事業概要に基づいた事業報告

【1】診療及び保健予防事業については全病院、診療所において実施しており、入院施設をもたない診療所は法人のネットワークを活用して入院先を確保し、入院治療を行った。4病院で協会けんぽの生活習慣病予防健診の受託医療機関であり、労働安全衛生法に基づく雇用者健診等を実施している。詳細は下記のとおりである。

事業分類	項目 / 年度		2020年度
医療介護活動1	外来	患者件数	415,274
		延患者数	581,397
		1日患者数	2,219
	訪問	看護延患者数	0
		1日患者数	0
	往診	訪問診療	32,335
		管理患者数	1,878
		在宅時医学総合管理	1,239
	入院	患者件数	19,579
		延患者数	255,495
		1日患者数	699
医療介護活動2	透析	外来	15,105
	*再掲	入院	4,053
手術	全件数(うち全麻件数)		3,674 (1,839)
	外科		1,162 (846)
	整形外科		1,359 (767)
	産科		213 (8)
	婦人科		128 (80)
	耳鼻咽喉科		22 (16)
	眼科		387 (3)
	脳外科		0
	皮膚科		11 (0)
	内科		318 (101)
	泌尿器科		74 (18)
	その他検査等		131 (67)
	病理解剖検査数		16
	分娩	分娩件数	354
	労災	外来患者数	10,259
		入院患者数	395
医療介護活動3	特診	整形外科	1院所/11人
		心臓	6院所/121人
		眼科	3院所/154人
		甲状腺	4院所/302人
		振動病	0院所/0人
		その他	3院所/51人(胃Fa等)
		健診	成人病健診/特定健診
		母親教室	0回/0人
		安産教室	0回/0人
		被爆者健診	14
		乳児検診	713
		企業健診	10,333
		政府管掌健康保険健診	6,205
		学校健診	3,076
		学校健診(側わん)	683
		学校健診(耳鼻科)	569

【2】生活困難者のための、無料又は低額な料金で診療等を行う事業については、全ての病院・診療所で行なった。法人全体では、生活保護と無料・低額診療の患者の合計が総患者数の17.7%である。詳細は下記のとおりである。

院 所		2020年度					
		(2020年4月～		2021年3月)		再掲件数	
		件数	日数	減免金額	新規	就援	
1 中央病院	入院	228	6,918	24,292,091	118	14	
	外来	495	3,993	21,327,531	99	75	
	小計	582	10,911	45,619,622	204	82	
10条クリニック		85	648	1,466,740	21	14	
2 札幌病院	入院	80	2,099	5,353,195	44	16	
	外来	661	5,173	13,019,152	243	324	
	小計	690	7,272	18,372,347	280	335	
3 西区病院	入院	58	4,474	9,703,740	37	13	
	外来	73	409	874,253	23	25	
	小計	122	4,883	10,577,993	58	37	
ひだまりクリニック		89	709	1,764,490	16	32	
4 苫小牧病院	入院	30	1,042	3,307,269	10	4	
	外来	276	2,044	5,221,540	34	72	
	小計	286	3,086	8,528,809	43	75	
5 ぽぶらクリニック		51	350	762,740	6	8	
6 札幌クリニック		12	129	472,810	3	1	
7 月寒ファミリークリニック		21	74	128,120	6	4	
8 平和通クリニック		32	250	1,179,030	6	12	
9 もみじ台内科		12	148	762,780	0	8	
10 みなみ診療所		22	220	385,980	3	5	
11 当別診療所		16	152	710,370	3	4	
12 小樽診療所		56	462	1,510,350	10	10	
13 余市診療所		30	299	491,130	5	8	
14 黒松内ブナの森	入院	26	982	1,218,714	0	2	
	診療所 外来	94	1,278	2,149,860	9	26	
	小計	95	2,260	3,368,574	9	26	
15 室蘭診療所		20	209	502,400	3	4	
16 厚賀診療所		32	439	658,500	5	1	
17 浦河診療所		74	913	1,822,860	7	18	
18 神威診療所		19	208	809,130	1	0	
19 上砂川診療所		29	239	771,090	5	0	
20 芦別診療所	入院	3	88	231,790	0	0	
	外来	29	285	1,195,240	4	0	
	小計	30	373	1,427,030	4	0	
21 老健柏ヶ丘		1	101	193,915	0	0	
22 西区介護医療院	介護	1	19	43,188	1	0	
	入院	425	15,603	44,106,799	209	17	
	合計 外来	2,228	18,631	57,986,096	512	651	
		2	120	237,103	1	0	
		2,407	34,354	102,329,998	699	684	

\*総計件数は1人が入院・外来と両方で利用された場合は1件とする

2020年度 無料低額診療 統計					
		2020年度		2020年度	
1. 保険	件数	構成比	4. 新規利用者数	件数	
国保	1,082	45%		699	
短期保険証	0	0%			
資格証明証	3	0%		2020年度	
社保本人	389	16%	5. 性別	件数	構成比
社保家族	326	14%	男性	1,124	47%
任意継続	0	0%	女性	1,282	53%
後期高齢者	577	24%	計	2,406	100%
生保申請前	0	0%		2020年度	
無保険	28	1%	6. 年代	件数	構成比
その他	0	0%	00代	49	2%
介護保険(老健施設)	2	0%	10代	80	3%
合計	2,407	100%	20代	67	3%
			30代	133	6%
			40代	315	13%
2. 適用区分	件数	構成比	50代	350	15%
1.無料診療	20	1%	60代	434	18%
2.一部負担金の10割免除	2,282	95%	70代	533	22%
3.一部負担金の一部免除	106	4%	80代以上	446	19%
合計	2,407	100%	計	2,407	100%
			7. 世帯	件数	構成比
3. 申請理由	件数	構成比	独居	1,237	51%
1.低所得	1,588	66%	2人世帯	559	23%
2.失業・倒産	65	3%	3人世帯	266	11%
3.ホームレス	2	0%	4人世帯	175	7%
4.病弱	9	0%	5人以上世帯	170	7%
5.DV被害者	5	0%	計	2,407	100%
6.外国人	50	2%			
7.人身取引被害者	0	0%			
8.就学援助世帯	525	22%			
9.その他	162	7%			
合計	2,407	100%			

【3】第一種助産施設の運営については、札幌市内5箇所の病院の一つとして、経済的困難が理由で出産費用を準備できない方の分娩を取り扱った。入院施設のない市町村からも受け入れを行った。2020年度は354件を取り扱った。同病院は小児科の入院施設も有しており、疾病や障害のある新生児の一時対応を行い、周産期医療の一端を担っている。

【4】救急医療については、中央病院が2次救急指定病院に参加し、2020年度5,738台の救急車を受け入れた。札幌病院は救急医療体制における小児科に関わる輪番制に参加する医療機関として継続している。

【5】休日・夜間等の医療の供給については、4病院7診療所が夜間休日当番病院の輪番制に参加し、休日や夜間の医療供給を行った。また、2病院・14診療所において夜間診療を行い、日中の通院が困難な方の受診機会を確保した。

【6】災害医療については、中央病院が丘珠空港事故救急対応病院、札幌市の災害時基幹病院となっている。

【7】へき地医療については、厚賀診療所が引き続き北海道のへき地診療所に指定されている他、北海道緊急臨時的医師派遣事業に参加し、平取町国民健康保険病院へ医師を派遣した。

【8】難病者に対する継続的な医療については、財団法人北海道難病連が行なっている北海道からの委託事業

「難病医療・福祉相談会」に継続的に医師を派遣している。

- 【9】 卒後臨床研修指定病院の取り組みについては、1997年より臨床研修病院の指定を受けており、2020年度は14名の初期研修医の受け入れを行った。中央病院が基幹型となり、札幌病院・西区病院・苫小牧病院など11病院で協力型、診療所など21施設が協力施設となっており、北海道における医師養成の一翼を担っている。
- 【10】 介護及び介護予防事業として老人保健施設柏ヶ丘を運営しており、2020年度の入所者数は延べ25,911人、短期入所の入所者数は延べ1,765人。病院での入院治療と在宅療養を橋渡しし、切れ目のない一体的なサービスを提供した。認知症対応型通所介護と通所リハビリテーションの2020年度延べ利用者は、それぞれ2,081人、12,035人である。当法人の老人保健施設では、社会福祉法に基づく生計困難者に対して、無料または低額な費用で介護老人保健施設を利用させる事業を行なっている。また、低所得者でも入所できるよう、保険の効かない利用料の部分の部分を低く設定している。2020年度は生活保護受給者と無料・低額診療の利用者を合わせると、入所者の13.4%である。
- また、医療の必要とする要介護者の長期療養・生活施設として2020年10月より西区病院の1病棟を介護医療院に転換し、延べ5,365人を受け入れた。
- 【11】 病後児デイサービス事業については札幌病院に附設して札幌市の子育て支援事業である病後児デイサービス事業を勤医協菊水こどもデイサービスセンターで運営している。2020年度は延べ216人の児童が利用した。
- 【12】 衛生検査所の設置については、病理検査を扱っており、手術中の迅速病理診断も行い臨床機能の一部となっている。病理科の医師と研修医が合同で臨床病理カンファレンスを行い、臨床研修病院の機能を補完している。
- 【13】 健康予防に関する知識の普及、啓蒙活動については、すべての病院・診療所で地域住民を対象とした無料の健康相談会を開催し、健康教育や保健予防の知識の普及、医療相談などを行った。2020年度は99回実施し、1,223人が参加した。内容は病気の予防、治療法、医療制度の理解の促進などである。講師は、医師、看護師、リハビリ技士、栄養士などの医療技術者やソーシャルワーカーが務めた。
- 【14】 医療・福祉に関する調査研究については、日常の診療で得られた知見や独自の調査活動の成果をまとめ学会や研究会などで発表を行った。大学病院や医学部での先端研究と異なり、患者の生活や労働と疾病の関係、生活の質（QOL）の向上のためのケアなどを研究の対象としている。勤医協医学雑誌や、勤医協看護雑誌も発行し、研究活動の成果を広く普及すると共に後継者の教育に活用した。研究にあたっては、患者の人権を尊重し、医療・生命の倫理を重視している。